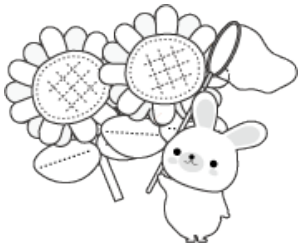
関小学校学校運営協議会だより

No.3

令和元年 7 月 16 日

第３回関小学校学校運営協議会が開かれました



日頃から保護者の皆様・地域の方々の多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。６月２７日に第３回運営協議会が開かれ、認小中の連携、地域に開かれた教育課程、登下校時における児童の安全確保について話し合われました。

会長のあいさつから

・5/24 にスクールバス殺傷事件という胸が痛い事案がありました。児童生徒の安全確保の取り組みについて亀山市生涯学習課に市の取り組みを問い合わせました。（登下校時パトロールの時間延長、青パトの運用）通勤途中に児童生徒の５校の登校の様子を見てきました。

・あと３週間で夏休み、学校・家庭・地域で目を光らせていただき、対岸の火事と思わず真摯に取り組んでいただきたい。

校長のあいさつから

・５年生の宿泊研が鈴鹿青少年研修センターで行われました。声を掛け合いながら協力し合う姿が見られました。「いきいき」の方からもご協力をいただきました。

・夏休みに入ると、子どもも気が緩みがちになります。地域・保護者の方の多くの目で見守っていただきたいと思います。

認小中の連携について

⑴　認小の連携(アスレと関小学校)

・関認定子ども園アスレ園児が小学校を訪問し教室で授業を受け、体育館で１年生と楽しく遊んで交流しました。

・１年生がアスレを訪問して年長の園児たちと昼食を一緒に食べたり、会話したりすることをとおして交流をしました。(カレーパーティ)

・校長先生や通級の先生に来ていただき、保護者が小学校の先生の話を聞く機会を設けることで、親にとって不安を取り除くことに有効な取り組みになっている。

⑵　小中の連携

・12 月頃に人権フォーラムで関中学校区の６年生と中学生が身近な人権問題について話し合うという機会を設けています。６年生の児童が中学校に出向いて中学

校の先生から授業を受け(昨年は英語)、中学校の生活に早く慣れることができるように取り組みを続けています。

・情報交換を綿密におこない、４月の入学に向けて全職員でそなえている。６年生が関中に行って生活入門講座で教室に入って授業の雰囲気を感じてもらっている。

地域に開かれた教育課程について

地域に根ざした教育を１年から６年まで年間をとおして行っています。このような活動をとおして知識・技能だけでなく地域の方とのふれあいを通じて学びを深めている。

（1）　２年生の取り組み(町探検)

関宿を知らない子どもが半分います。「町とつながろう」ということで、子どもがお店に行って「どんなお店ですか」など質問をしてお店の人と交流を行っています。

（2）　６年生の取り組み（私たちの関の町）

町の魅力を知ろう。町並みで働いている方に直接会って話を聞いてきました。「なぜ観光客が関宿に来るのか」を切り口にして町の人に聞き、町のすばらしさを気付くだけでなく何を発信すべきかを考えさせました。

（3）　関宿カルタ

委員の方より、「関宿カルタの利用で関宿の理解を深めてもらうことにつながっていくのでは」という意見をいただき、利用について意見交換をしました。

登下校時における児童の安全確保について

児童の安全確保における関小学校の取り組みについて協議を行ないました。

（1）　不審者に遭遇した場合、不審者から自分の身を守る方法等の学級指導

・発達段階に応じて学級指導(５月２９日)

・防犯ブザーの確認（作動チェック、登下校・外出時の携行）

（2）　学校安全計画について

・防災・減災・安全指導担当による学校安全計画の見直し

・防犯教室の実施(１学期終業式)関駐在所に依頼

・児童引き渡し訓練の実施(６月２２日)

（3）　地域、ＰＴＡ等との連携

・登下校指導の実施(学期に１回)登校指導４月 10 日、下校指導７月 19 日

・通学路の安全点検(７月)、現地調査(８月)、バス指導の実施(１学期中)

・ＰＴＡ地区集会の実施(防犯ブザーの携行と夏休みの過ごし方について)(６月)